

匝 企 第 2 3 6 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

千葉県匝瑳市長 江波戸 辰夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路共生についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

千葉県匝瑺市

道路整備は、国や地方を通じて非常に厳しい財政状況にあることから道路整備に係る経費は、年々減少しているところであるが、道路整備は、地域に最も密着した分野として依然として住民からの要望は強いものとなっている。

今後は、これまで以上に道路の老朽化により改修費用が増加することは避けられず、また、災害対策、渋滞解消、地域の活性化を図るためのアクセス道路整備など緊急に整備しなければならない道路も数多くあることから事業の重要性や緊急性、工法の見直しなど費用対効果を十分見極め、真に必要とされる道路整備に取り組んでいくことが重要である。

今後の道路共生についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

千葉県匝瑳市

○現状

- ・ 低い道路改良率
- ・ 通勤通学時間帯の渋滞
- ・ 道路の老朽化
- ・ 市管理道路の県道昇格について

○課題

- ・ 匝瑳市の地勢として南部は平坦な田園地帯である一方で、北部は下総台地の緩やかな丘陵地帯で谷津田が入り組んだ複雑な地形をしていることから狭隘な道路が多く、未だ道路改良が進んでいないことから道路環境の改善が課題となっている。
- ・ 匝瑳市を東西に横断している国道 126 号線は、朝夕の通勤通学時間帯に恒常的に渋滞が生じているため、現在、整備区間として位置づけされている銚子連絡道路の早期完成が課題となっている。
- ・ 道路の老朽化により改修費用が年々増額し、財政を圧迫している。
- ・ 昭和 63 年に完成した東総地区広域営農団地農道は、匝瑳市北部を東西に横断する首都圏と地域を結ぶアクセス道路となっている。西は、国道 296 号線へ、東は主要地方道路銚子海上線を経て利根かもめ大橋有料道路へ繋がる交通体系となっていることから、国・県道に匹敵する交通量がある。
今後、物流や観光等で益々交通量が増大することが見込まれ維持管理費についても多額になっていることから県道への昇格ができるかが大きな課題となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

千葉県匝瑳市

賑わいのあるまちを形成していくためには、幹線道路や公共交通機関の充実を図り、車社会、高齢化社会の進展等に対応していくことで、だれもが気軽に市内外を行き交い、集い交流することのできる環境を整備する必要がある。

今後の道路共生についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

千葉県匝瑳市

該当なし			
------	--	--	--